

事業所名	障害者支援施設もみじの里			
開催日時	令和8年2月26日(木) 14時00分～15時45分			
開催場所	障害者支援施設もみじの里 地域交流センター「わだごえ」			
出席者	構成員	人数	備考	
	利用者	1	名	
	利用者ご家族	1	名	
	地域の関係者	1	名	無鹿2区 役員 ※区長代理
	市町村担当職員	1	名	延岡市障がい福祉課職員
	事業所職員	5	名	施設長：山下泰征、管理係長：安藤友加里、支援係長：内門洋紀 サービス管理責任者：八幡領卓志、主任支援員：岸上沙織
議題等	(1) 開会挨拶 (2) 出席者紹介 (3) 地域連携推進会議について (4) 施設概要について(施設内見学) (5) 意見交換 (6) 閉会			
協議内容・意見等	(1) 開会あいさつ [施設長] お忙しい中、本日の地域連携推進会議にご参加いただきまして、誠にありがとうございます。また日頃より当施設の運営に関しまして、多大なるご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。 この地域連携推進会議の目的等については後ほど詳しくご説明いたしますが、主な狙いは地域の方々との連携を深めること、そしてこの施設についてより深く知っていただくことにあります。 本日は、限られた時間ではありますが、よろしく願いいたします。			
	(2) 出席者紹介 ・地域代表(代理出席)、行政関係者、家族代表、利用者代表、施設職員(施設長、管理係長、支援係長、主任支援員、サービス管理責任者)がそれぞれ自己紹介を実施。			
	(3) 地域連携推進会議について ・目的等 [施設長] ①利用者地域との繋がりを深める。 ②地域の皆様に施設や利用者のことを知っていただき、理解を広げる。 ③施設の運営を開かれたものにし、サービスの質を高める。 ④利用者の権利を守り、安心して生活ができる環境を整える。			
	(4) 施設概要について ・沿革、建物について [施設長] 昭和54年5月開設。令和2年末から令和4年にかけて全面改築工事を行い、現在の新施設となった。			
	・事業内容 [施設長] ①障害者支援施設(施設入所支援、生活介護) ②短期入所事業(ショートステイ) ③日中一時支援事業 ④障害者相談支援事業(計画相談等) ⑤生活困難者相談支援事業(みやざき安心セーフティネット事業)			
	・利用者状況(1月末現在) [施設長] ○計53名(男性27名、女性26名)※定員53名。 ○平均年齢：約61歳(最高年齢層の増加により、上昇傾向)。 ○障害区分：区分6(最重度)が約7割を占める。身体障害が主であり、高い介護度を要する方が多い。			

- ・職員状況（1月末現在） [施設長]
 - 計42名（男性13名、女性29名）。
 - 多職種の職員が連携して支援している。4月から新卒1名を正規採用予定。

- ・日課と年間行事の紹介 [支援係長]
 - 1日の流れ
 - クラブ活動など（音楽クラブ、カラオケ、読み聞かせ、俳句クラブ、園芸等）
 - 年間行事、季節行事、誕生会等

- ・事故報告／苦情及び要望 [主任支援員]
 - 事故報告
 - 感染症、骨折、誤薬等の事故詳細及び対応や対策について
 - 苦情・要望
 - ①ナースコール対応、介護方法等の内容説明及び対応等について
 - ②第三者委員への報告などについて

- ・施設見学 [支援係長]
 - 防災設備等も含め説明
 - 居室や共有スペース及び日課、個別対応等を見学

(5) 意見交換

【市町村担当職員】

質問：利用者の通帳やキャッシュカード、お金の管理はどのようになっていますか。

回答：キャッシュカードは作成せず、通帳のみの管理としています。通帳及び印鑑は、それぞれ別々の場所により金庫にて保管し、安全性を確保しています。

日常生活での使用では、ご自分で管理・動作ができる方は自ら自販機等で購入もする。管理が困難な方の場合は、あらかじめ「小口現金（1万円）」を事務所で預かっており、職員が同意のもと代行して購入・支払いに充てる仕組みとしています。

【利用者代表】

感想：以前この施設におり、一度退所して別の場所で生活していたが、縁あって戻ってきました。

昔の良さもありますが、新しい施設での良さもあります。今の生活を楽しんでいきたいです。

今日は、地区の方や延岡市の方も来ていただいてありがとうございます。

【利用者家族代表】

要望：事故に至ったケースだけではなく、ヒヤリハット（事故の手前で気づいた事例）の結果についても、家族会でも構わないので、報告してほしいところです。

回答：実際には、事故には該当しないケースも月に10件前後発生しており、すべて協議・記録しています。今後は、そのようなヒヤリハットの件数等についても報告、共有できるように努めていきたいと思っています。

【地域の関係者】

要望：施設の中を見る機会が少ないため、今日のように実際に見て話を聞くことで、ようやく状況が理解できることもあると思います。利用者の方と話す機会もなかったため、今後も交流や知る機会が増えればと思います。

回答：ここ数年は、感染症対策等で交流など遮断せざる得ませんでした。昨年から徐々に家族も行事等に参加していただいております。来年度については秋まつり等も盛大な開催を目指しています。その際も以前のように地域の方々や行政の方々にも参加していただければと思っています。

また、それに限らず、施設や利用者の方を知っていただくためにも地域の方も参加できるような催し等を考えていきたいと思っています。

【施設長】

質問：施設について、46年、47年と運営していますが、今言われた通り、関係性というのは、やはりこういう会議を通していかなければ、見ることもお話しすることもないという面がございます。

逆に、地域の行事の方にも、私どもで何かお手伝いできることあればお声掛けいただきたいです。この場所を「地域交流センター」と名付けている理由も、前理事長、現理事長も言われておりましたが、地域の方たちに有効活用してもらえれば、というところから名称をつけています。

冷暖房完備、カラオケの機器等もございますし、使用料金を徴収することはありませんので、ぜひ活用していただきたいです。

また、お互いに顔が見える関係になっていた方が、今度予定しています地区との防災訓練なども含めてスムーズに進むことと思います。

今の時点で、地区の方から「施設にこれを手伝ってほしい」、「場所の提供」等について、何か要望等はないでしょうか。

【地域の関係者】

回答：以前は、地区の敬老会の際に、公民館の舞台で踊っていただいたこともありました。今は、敬老会自体も開催していない状況です。

親子会の活動で、公民館が使えなくなったりした時に、役員の方で（ここを使おうかと）話も出ますので、使用して良いならば、そのことについて区長や役員にも伝えておきます。

【市町村担当職員】

質問：ご高齢の方も多いとのこと、親亡き後の問題等もあると思いますが、市としても相談等行っています。利用者の方の親や身元保証人等の関係や対応は、どのような状況でしょうか。

回答：現在53名が入所されています。やはり家庭の事情はそれぞれありますので、面会も毎週来られる方、半年に1回、年に1回という方もいらっしゃいます。近場であれば来やすいですし、県外にいらっしゃる場合はどうしてもすぐに来られない状況にあります。ただ、何か相談がある場合には、お電話をいただいて、例えば必要な書類や準備物など、気兼ねなく相談していただけるようになっています。お電話等々でお話ししますが、ご家族の方も安心されているようです。

また、おっしゃられるとおり、ご家族の方もご高齢になってきています。もし（手続きなどの）対応ができない場合には、成年後見制度を活用する等、説明や対応をしております。これらは、こちらから発信するのではなく、ご家族の皆様が「高齢だからどうしようか」と地域の包括支援センター等に将来のことを相談しに行き、後見制度を決められたという話もあります。そういった際の必要な書類関係の準備などは、出来ることはこちらで行います。ご家族それぞれの状況に合わせて対応しています。

(6) 閉会 [サービス管理責任者]

本日はお忙しい中ありがとうございました。概要の説明や、実際の生活を見ていただいて、少しでも知っていただければ幸いです。

本日皆様からいただいた貴重なご意見を参考にし、地域であったり、ご家族であったり、各所とのつながりをしっかり持って、透明性のある施設運営をしていきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

以上をもちまして、地域連携推進会議を終了します。ありがとうございました。